

熊さん 「この、4とか8とか書いてある輪」かのことか？」。

御隠居 「そうだ。一番小さな数字は何だ」。

熊さん 「2だねえ」。

御隠居 「じゃ、一番でっけえ数字は」。

熊さん 「16」。

御隠居 「で、ちよいとこの輪」かを回してみな。確か、そのメーカーのレンズなら、ボディから外しても、中の羽根が開いたり、閉じたりするはずだ」。

熊さん 「メーカーによっちゃあ、開いたり閉じたりしねえこともあるんですかい？」。

御隠居 「まあな。メーカーによっては、ボディにくっつけとかないと、中の羽根が動かねえのもある」。

熊さん 「御隠居、数字が2の時は開ききって、16の時は、中の羽根が豆粒みてえな大きさに閉じちま

ますねえ。全部のレンズがこんな動き方をするんですかい」。

御隠居 「絞りの動き方としちゃあ、そうだな。

しかし、数字に限っていえば、全部が全部、一番小さな数字が2とは限らねえ。1・4とか1・2 ってえのもある。

この一番小さな数字のことを、『開放値』とか、『開放』ってえふうに呼ぶんだが、何れにしても、中の羽根が開ききった状態で、そのレンズが一番明るい時の数字だね。

大体の傾向としちゃあ、望遠になるにつれて、開放値も大きくなるようだな。つまり、暗くなるってえわけだ。そうだな、おめエさんの200ミリをちよいと覗いてみな。開放値はいくらだ？」。

熊さん 「えーと、絞りリング上の一番小さな数字はってえと、4だね。つまりは、開放値は4ってえわけだな」。

御隠居 「そうだ。開放値はf4だな。これからは、開放値だけじゃなく、絞り値全てについてf2とかf4のように、エフ付きの言い方をするから、そのつもりで聞きな。おめエさんが日頃拝んでいるフィルムの箱にも、シャッター速度が幾つの時、絞り、f幾つってえ書いてあったらう」。